



今月の一枚

年末大掃除 (12月27日、順慶寺本堂にて)

◆◆ 年末大掃除 ◆◆

順慶寺では、毎年暮れに年末大掃除を実施している。一年間お世話になった、本堂や庫裏、境内やトイレなどを掃除当番の皆さん、各例会の皆さんが集まって朝一番から大掃除をする。このとき、総代は、直伝の煤払いホウキを手に堂宇の煤払いする。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2025年(令和7年)

1月号
VOL.375

◇ 清き心によって執着は鎮まる ◇

新年あけましておめでとうございます。

令和7年最初の釈尊の言葉として選ばせていただいたのは、『ダンマパダ』より、

「愛しいものに対する心を自制するのは行い清き人としてすぐれたことである。

他人を傷つける心が止むにつれ

苦しみは鎮まる」(第三九〇偈)

という言葉です。

このところ、正月などで里帰りした独身の子供に、結婚の話や交際相手の話をするのはタブーになったと報道されていました。これは子供の将来を考えて親が思う、当然のことであると思いますが、実は、この根には執着の気持ちがある場合があります。

仏教では、執着の心の根底には、「**慳貪**」があると教えます。執着を強めれば、「**突っ慳貪**」となり、他人を傷つけるものだとしてされています。世の中は移り変わるものですから、手放すための勇氣と柔軟性が必要です。

今月の出典は、智慧第一と呼ばれた**舍利**



今月の釈尊の言葉

他人を傷つける

内なる心が止むにつれ

苦しみは鎮まる



『ダンマパダ』
390 偈より

若院のテーマカット NO.68



佛の徳をたたえた一節からです。舍利弗は、仏弟子の中でもとりわけ智慧がすぐれ、忍耐力が強い人として有名でした。あるとき、それを訝しく思った一人のバラモンが、**托鉢**をしてる舍利弗の背中を後ろから強く打ち付けました。きっと青筋を立てて怒るだろうと思ったバラモンに、舍利弗は見向きもせず立ち去っていきました。驚いたバラモンは、その場にひれ伏し、非を詫言ると、舍利弗は何も言わずに許しました。舍利弗を敬う他の仏弟子は、バラモンの非礼を許さず、釈尊に報告をしました。すると

釈尊は、「清きものは人を打ち付けることはありません。清き心によって、執着の心は静まるのです」と教えたそうです。

◆念仏申す身となること◆

親鸞聖人の二十四輩御旧跡の河和田・報仏寺に、親鸞聖人と出会う前の唯円（かつて平次郎と呼ばれる）のエピソードが刻まれた石碑があります。

唯円（平次郎）は、『歎異抄』の作者として有名な、親鸞聖人に帰依したお弟子。もとは大部という郷の生まれで、放蕩者の狼師で、気性が荒く嫌われものでした。それに対して、平次郎の妻・おすわは心優しく、夫・平次郎の悪業に心を痛めていました。

あるとき、おすわが、親鸞聖人に平次郎のことを相談すると、案じた親鸞聖人は「帰命盡十方無碍光如来」と

書かれた名号を与え、辛いときはいつでも名号に向かい、念仏申すように教えました。それから、おすわは、平次郎のいない隙を見て、名号を取り出して念仏申すようになりました。

ところが、ある日、おすわが隠れて念仏する姿を平次郎に見られ、慌てて名号を隠すと、平次郎は恋文を読んでいると勘違いして激怒し、山刀を抜いておすわを斬り殺してしまいました。

我にかえった平次郎は、酷いことをしたとおすわの亡骸を探しましたが、おすわはすまして炊事場で水仕事をしていました。そのかわりに、名号が血染めになっていたそうです。

その後、平次郎は唯円と名告り、親鸞聖人の弟子となり、おすわとともに念仏申す身となったといえます。念仏によって他人を傷つけることを止め、念仏申す身となった一例です。

②【唯円】

生没年は一説に二二二―二二八九年。親鸞聖人の晩年の門弟。常陸国河和田（茨城県水戸市）の生まれ。『親鸞伝絵』にみえる大部の平太郎（二九五―一二六）の弟で、俗名を平次郎、同地の報仏寺の開基と伝える。親鸞聖人の曾孫、覚如上人の行状を記した『慕帰絵詞』には、二二八八年（正応元年）冬に上洛し、親鸞聖人のご法義を覚如上人に教示したことがみえる。（日本百科全書より）

①【舍利弗】

紀元前五世紀ごろ、マガダ国王舎城北のバラモンの生まれ。釈迦の十大弟子の一人で、舍利弗はサンスクリット語のシャリープトラの音写。懷疑論者サンジャヤの弟子として、百人の弟子を率いたが、釈尊の弟子であるアッサジという修行者が托鉢のために王舎城に入るのを見て心を打たれ、やがて釈尊に帰依した。仏弟子の随一とされ、智慧第一といわれたが、釈尊より先に亡くなった。



お寺では新年は修正会でお参りしますが、お願い事をしたいいけないんですよね。どうしてかな？



大晦日の深夜には、順慶寺でも、年越しの行事をしますから、是非いらしてくださいね。

お寺でする年越しの行事となると、思い浮かぶのは、除夜の鐘、松明などでしょうか。順慶寺でも、除夜の鐘を打撞らしつつ、本堂の御本尊様の前で皆さんで正信偈のお勤めをしながら、新年を迎えることにしています。

じゅんこちゃんの言うように、お寺や家の御本尊様の前で、新年最初の

お勤めをすることを修正会といいます。この行事は、中国から伝わったものらしいですが、基本的に前年の反省をして、新しい年を穏やかに過ごせるようにお参りすることだとされています。

神社の初詣でも、新しい年を健やかに過ごせるようにお祈りをするので、同じことのように思います。お寺でお参りするとき大切なことは、願い事をしないことです。お寺で御本尊様に手を合わせるときに、御本尊様にお祈りやお願いをすることは、折角きよらかな仏さまにあつても、また自分の欲を拾い直すことになるので、よいことではないとされています。

仏さまは、今まで自分の心の中にある欲のために、苦しみが起こっていたことを教える方です。手を合わせて自分の行いを反省し、身をただすのが仏さままでのお参りの基本です。

仏さまは、今まで自分の心の中にある欲のために、苦しみが起こっていたことを教える方です。手を合わせて自分の行いを反省し、身をただすのが

《第五十七回 お取越》

十二月はお取越で各家々にずとも似てしまうのかもしれない。その中で亡くなった老院とお参りをさせていただきません。

真宗の声明は口伝で継承されてきたといわれていますが、先人の積み上げて来たものが、自分の身から出ていると思うと感慨深く思えます。

小さい頃から一緒に練習していたのでもしかしたら意識せ

お寺とともに

「薄氷を踏みしめて」

先日、お寺にお掃除に来られた皆さんとお話ししている中で、稲刈りの話になりました。

「お嫁に来た頃、10月、たしか11月にも稲刈りをしていない田んぼがあつて驚きました」

と、お寺に嫁いだころを思い出しながら昔ばなしをすると、「昔は12月の薄氷の張った田んぼに素足で入って、ばりばり水を割りながら稲刈りしたものだよ」

と、お掃除の皆さんに若かつた当時のことを何気なく教えていただきました。その場にいた皆さんも「そうそう」と懐かしそうにうなづいておられました。

今では考えられない冬の厳しい農作業を、静かに語られる姿に、ただ感服するばかりでした。

豊かで便利な世の中に生まれ育った私たちですが、先の方々のご苦労や、今の平和な社会に感謝を忘れてはいけないなあ、としみじみと考えさせられました。





1月 修正会の袋菓子



2月 雨の中でもハスの手入れ



3月 役員交代会



4月 誕生児初参り式と花祭り



4月 蓮師会総会



5月 惣骨塔の個別区画完成

一年間大変お世話になりました。ようやくコロナから解放されましたが、コロナの余波があちこちに現れた一年でした。そこからまた、再始動。よちよち歩きの一歩が始まりました。



6月 護寺会バス旅行(石山寺)



11月 防災訓練



11月 帰敬式

◆**順和会、ゴルフコンペ4組で開催** 11月10日、貞玉GCにて、順慶寺護寺会有志の会である、順和会ゴルフコンペが開催された。無風快晴の絶好の天気のため、男女15名の参加者は、4組に分かれて好プレイ珍プレーを連発。笑顔あふれる楽しい交流の一時となった。優勝者は、総代OB会会長の酒井陽次さん。

◆**真宗講座、黒田先生最終講義** 12月15日、一年間真宗講座の講師として講座を担当された、同朋大学講師・黒田浩明氏の最終講義があった。黒田氏は、一年間という短い期間であったが、親鸞聖人のかな聖教を中心に熱心に教導された。講師の後任は未定だが、3月末日までには決定する予定。

◆**寺カフェで琴と三味線コラボ** 12月1日、順慶寺で毎月定例の寺カフェで琴と三味線の演奏会を開催。五十人を超える客で賑わった。当日、子ども会もコラボして、おとこの練習をしてから演奏会の会場に参加した。

編集部短信

12月度護寺会物故者

釋章馨

12月7日寂林 章 (88)

泉田町林 勇様の父

清超院釋了光

12月19日寂 相木俊光 (82)

北尾組 相木絵里様の父

真裁院釋道麟
12月19日寂 岡本麟一 (95)
市場上組 岡本光弘様の父

3名の順慶寺護寺会員の
方が生前の役割を終えら
れ、浄土におかえりにな
られました。合掌



編集雑記

令和7年、いよいよ還暦になります。還暦には何故か赤いちゃんちゃんこを着ることになっていきます。どうして赤いちゃんちゃんこを着るのか、少し気になったので調べてみると、赤には魔除けの力があるからということがあります。

もう一度赤ん坊にもどるから魔除けのちゃんちゃんこを着るといいますが、無邪気な赤ん坊のときと違うのは、本当の魔が分かってきたということでしょうか。(住)

ようやく冬の寒さがやってきました。朝、車のハンドルを握る手が凍ってしまいそうで毎回億劫な気持ちになります。毎年この寒さを通り越して来ているはずなのですが、慣れませんね。(若)



1月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水	修正会(大晦日深夜23:45~、順慶寺)	
2	木		
3	金		
4	土	参門会(17:00、順慶寺玄関)	
5	日	新春・寺カフェ寄席(9:00~11:00、順慶寺本堂)	
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		木-1
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	今川西組お取越 成人の日	
14	火	今川東組お取越	
15	水		
16	木	山ノ端組お取越	木-2
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		木-3
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	水		
30	木	下高根お取越	木-4
31	金		

1月行事内容 詳細

修正会(年越し勤行)

12月31日(火) 23時45分
 ~1月1日(水) 1時終了

順慶寺本堂・境内にて

本年も大晦日深夜から元旦にかけて、修正会(年越し勤行)を左記の日程の通り実施いたします。是非、ご家族そろって御参詣ください。

《修正会日程》大晦日深夜~元旦

- 23時15分 山門開扉
- 23時45分 本堂おつとの始め
- 24時15分 除夜の鐘始め
- 24時15分 任職年頭挨拶
- 24時15分 責役・総代長挨拶
- 24時30分から 順次焼香(三十分間)
- お屠蘇・お汁粉接待

※お屠蘇の振る舞いは衛生管理のため、試飲カップにより実施します。また、南落間にてお汁粉の接待も予定しています。本堂でのお勤めに参加された方には、令和7年度・住職年頭の言葉が入った菓子袋をさし上げます。

「寺カフェ」 おしらせ

1月5日(日) 9~11時

新春寄席(愛敬大落間)

見逃し亭三振 さん

夢国亭うると さん

★順慶寺・南落間&東屋&本堂

※2月の寺カフェは冬休みでお休みです

おしらせ

●正月の本堂でのお参りについて
 順慶寺本堂では、正月中にお庄厳を正月飾りにして皆さんの参詣をお待ちしています。正月中に本堂に参詣される方は、平時と同じで、午前六時から午後五時四十五分まで本堂は開いておりますので、ご自由に参詣してください。

なお、本堂のお飾り餅は、衛生管理上の観点から、三ヶ日で降ろさせていただきます。

本年もよろしくお願ひします

順慶寺だより編集部一同



あけましておめでとうをいいます

じゆんこのときめき歳時記

どんど焼き

年の瀬になって、突然、冬の寒さになりました。みなさん、風邪などを引いてませんか。

皆さんは、新年はどのようにして迎えるでしょうか。

お年寄りと新年を過ごす人なら、昔ながらに、正月にはしめ縄をして、鏡餅をお供えて、お節料理を食べて過ごし、正月が終わると、七草がゆを食べて、どんど焼きに正月飾りを持っていく人もあると思います。

ところで、どんど焼きの由来は、どこから来たのか知っていますか。物の本によると、「尊と尊」と嘯し立てて燃やしたらかとが、「どんどん」

燃やしたからとか諸説あるそうですが、どうもあまりよく分かっていないようです。でも、何となくイメージのわく言葉ですよね。

このごろは、火を燃やすことが難しいことが多いので、是非、どんど焼きは残してほしい行事です。

どんどん

どんどんと雪の降りにけり

小林一茶

